

児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

1 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	学年集会、全校集会での日々の指導、暴力行為を許さない学級経営を推進している。暴力行為は発生していない。基本的な生活習慣が身につけていない生徒が一部いるので、粘り強い指導が必要である。
②いじめの状況等	いじめが発見されたときは、保護者と連携し学年全体で指導を進めている。定期的に「いじめアンケート」や相談活動を実施し、いじめの早期発見に努めている。いじめの撲滅を目指し、生活指導部を中心に教職員研修を実施し、学校全体で取り組む。
③小・中学校における不登校の状況等	継続的な家庭訪問、別室指導による個に応じたきめ細やかな指導を進めることにより、不登校生は昨年度より減少した。また、小中連携して、不登校対応を行った。不登校生を減らすため、さらにきめ細やかな指導が必要である。
④高等学校における長期欠席の状況等	
⑤高等学校における中途退学の状況等	

※ 両表とも、小学校・中学校は①②③の項目、高等学校は①②④⑤の項目、特別支援学校は学校の状況に応じた項目について、それぞれ記入すること